



ドローンで農薬を空中散布

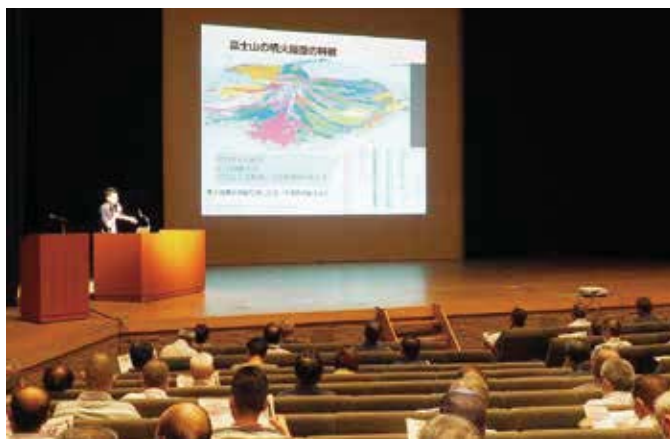
(6月11日)

JAなんすん芝生産部会が、ドローンを使った成長調整剤の散布見学会を開催しました。ドローンは、バッテリーで最大15分稼働、時速15kmで動きおよそ2m~2.5mの高さから農薬を散布します。散布は、深良と須山の2カ所のほ場で行われ、地元農業従事者が見学に訪れていました。農作業の省力化につながる新しい技術の普及が待たれます。

子どもたちが聖火リレーを体験

(6月26日)

市陸上競技場で小学生による聖火リレー体験が行われました。市スポーツ協会などが企画したもので、市陸上教室とラグビースクールに参加している小学1年生から6年生までの児童約120人が、竹で作った手製のトーチを持って競技場の外周をリレーしました。無事完走した子どもたちの、未来の活躍が期待されます。



富士山ハザードマップ改訂版の住民説明会

(6月26日)

市民文化センターで富士山ハザードマップ改訂版の説明会が開催され、区長や自主防災会関係者など約250人が出席しました。今回説明されたのは3月に公表された富士山ハザードマップ(改訂版)の改定の経緯や変更点などです。参加者は、いざというときの自分の行動計画『マイ・タイムライン』の作成実習を行い、災害への備えを確認していました。 特派員：小林建次

地域住民が描く 夢の街づくりの実現へ

(6月27日)

第1回岩波駅周辺まちづくりワークショップが矢崎Y-CITYで開催されました。会合には深良地区をはじめ富岡地区、須山地区の住民や企業関係者など45人が参加しました。この会議は北部地域まちづくり基本構想で短期構想に位置付けられた岩波駅周辺エリアの整備のために開かれたものです。年度内にあと5回予定され、駅周辺のまちづくり基本計画をつくりま





裾野長泉斎苑『麗峰の丘』竣工式 (6月28日)

旧施設の老朽化に伴い、市と長泉町が共同で整備を進めていた新火葬施設、裾野長泉斎苑麗峰の丘が完成し、竣工式が行われました。霊峰富士に見守られ、心穏やかに故人を見送る安らぎの場をコンセプトとした、木目や自然光を取り入れるなどのぬくもりある建物です。7月1日から供用を始め、駐車場などの整備を進め12月に施設全体が完成する予定です。

準高地トレーニング実証実験報告会 (6月30日)

生涯学習センターで、準高地トレーニングの実証実験報告会が行われました。報告をしたのは、静岡大学の杉山康司教授。水ヶ塚公園のクロスカントリーコースは標高約1,450mで、標高2,000mを越える高地と比べ高山病にかかりにくく首都圏から日帰りできるなど、独自の利点があります。研究の結果、一定の効果が見込めることがわかってきていて、研究の最終年度となる今年度の結果が期待されます。



富士山須山口登山道開山式 (7月1日)

須山浅間神社で富士山須山口登山道開山式が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、須山地区や観光協会の役員など約30人が出席し、神事のみ行いました。

登山道の歴史を振り返りながら、富士登山の安全と、富士山や地域とともにある浅間神社の歴史が続くことを祈念しました。
特派員：杉本 武満

**須山中学校生徒会
熱海市土砂災害被災地域への募金活動** (7月16日)

須山中学校の生徒会本部役員らが市役所を訪れ、熱海市土砂災害被災地域への募金活動で集めた募金を届けました。募金活動は、生徒会自らが企画し、7月7日(水)から15日(木)にかけて行われました。地域の人々からも暖かい気持ち寄せられ、合計で81,521円もの支援が集まりました。寄せられた募金は、日赤を通じて被災地の支援に役立てられる予定です。

